

※本資料は、8月3日に実施した『8月1日付トラックレース UCI 規則改定の適用に関する説明会』で使用した資料と同じものです。

JICF 日本学生自転車競技連盟主催大会における競技規則の適用に関して

2023/7/31

2022年版 JCF 規則集（印刷版）の発行以降、いくつかの UCI 規則変更が行われています。

たとえば、

2023年1月1日改定 自転車の寸法（たとえばエクステンションバーポジション）の規則変更など

<https://jcf.or.jp/wp2012/wp-content/uploads/downloads/2022/12/1921414351367f3bfacc0014a8874d2a.pdf>

その改定を受けた JCF 規則の 2023年5月1日改定（ヘルメットに関する事）

<https://jcf.or.jp/wp2012/wp-content/uploads/2023/05/165dcc2d370eff0677a4f9088b9577a2.pdf>

2023年8月1日改定 トラック競技規則の変更

<https://jcf.or.jp/download/news-74172/?wpdmdl=74172&refresh=64c771fae52851690792442>

<https://jcf.or.jp/wp2012/wp-content/uploads/downloads/2023/07/60514480654780b84d2e354831ac72e6.pdf>

JCF 規則は第1条において下記のように定めています。

（制定の規範）この競技規則は、国際自転車競技連合（以下 UCI という）の定款および諸規則を規範として制定する。これら規則に変更のあった場合には、準拠して改訂する。UCI 規則のうち、この競技規則に明文の規定のないものは、UCI 規則を準用する。また本連盟独自の規定には【J】を付す。

従いまして、原則的には UCI 規則に変更があった場合は、直ちにその変更が適用されることとなりますが、2023年8月1日からのトラック競技規則の変更は変更内容が多岐にわたることなどから、JCF としても変更後規則の即事適用とするか旧規則で運用するかを大会毎に定めることを可としています。

本連盟としては下記のように規則の適用を行うこととします。

1 2023年10月1日以降の大会は、UCI 新規則を全面的に適用

2 インカレを含む2023年9月までの大会は、

2023年1月1日改訂分は全面的に適用

2023年8月1日改訂分は、一部を除き UCI 新規則を適用

適用されない例外は、以下の3領域です。

- ・警告・失格の累積は、その種目内でのみの累積とする。
- ・スタンディングスタート種目における再発走は従来規則（2023/3/20版）で行う。ただし、下記の学連独自規定に注意すること。

（ナットの緩みやチューブラータイヤのリムセメント固定不十分など、整備不良が事故（落車や不正スタート等）の原因であることが明らかな場合、安全上の観点からコミッセルの判断により再発走を認めないことがあります）

また、UCI 規則改定の主旨が、意図的なスタート失敗や時程の遅れを防止する観点にあることから、スポーツ精神とフェアプレイに欠ける行為については、罰則の対象となり得ることを理解しておくこと。

- ・タンデムについては従来規則（2023/3/20版）で行う。

以下、インカレにおいて注意すべき変更点の概要を記しますが、詳細には規則原文を確認願います。

(装備)

・自転車 (ロード)

公道を走れる装備 (ベル、反射テープ等も必須)

集団スタートレースでのギア比は 10.3m に規制 (学連規程)

・ハンドルバー位置、寸法等

2023 年 1 月 1 日規則による。

・ヘルメット (JCF 規則第 50 条)

JCF 公認ヘルメットのみが使用できる。所謂エアロヘルメットは、タイムトライアルの競技中以外の使用は推奨されない。

・ゼッケンポケット (2022 年 11 月 UCI ニュースレター・ガイドライン、JCF 規則第 56 条)

透明ポケット内へのゼッケン挿入は個人種目でのみ使用可能、バンチレースではポケット外側に取り付けること。

(トラック競技)

・200m タイムトライアル・スタート時のプッシュ (2022 年 8 月 UCI ニュースレター)

安全地帯のみ (ブルーバンドまで)、パーシュートラインを越えてはならない

・スタンディングスタート種目の再スタート

認められる事故の場合は、1 回の再スタートが認められる (新・旧 UCI 規則)

整備不良、フェアプレイ精神の欠如とみなされた場合、再発走は認められない。(学連規程)

それ以外の不運なアクシデントの場合、1 回の再スタートが認められる (旧規則準拠)

・警告等の累積

原則として単一種目内で累積する。(旧規則準拠)

著しくスポーツ精神に欠けると見做された競技者は、大会から失格となることがある。

・スプリントの再発走位置の選択

違反のない競技者がスタート位置を決めるものとする。

・バンチレースでの予選からの勝ち上がり

予選では少なくとも各組 2 名が除外され、上がり人数ではなく除外人数を各組同数とする。

・タンデム

新規則では周回数が 3 周回となったが、本年インカレまでは従来規則 (6 周) で行う。

以上